

問1 日本を構成する地方行政区分で、1つの「都」、1つの「道」、2つの「府」、43の「県」を合わせたものを何とといいますか。

問2 地図のうえで、実際の長さをちぢめた割合のことを何とといいますか。

問3 八方位において、北と東のちょうど間にある方向を何とといいますか。

問4 各都道府県における、行政の中心地（役所がある場所）のことを何とといいますか。

問5 栃木県（とちぎけん）の県庁所在地はどこですか。

問6 北、南、東、西の4つの方向のほかに、北東や南西など、全部で8つの方向を表したよびかたを何とといいますか。

問7 同じ大きさの地図の紙を使うとき、縮尺を変えると、地図に示される何が変化しますか。

問8 地図のうえで、海面からの高さが同じ場所を結んだ線のことを何とといいますか。

問9 滋賀県にある、日本で一番広い湖の名前は何ですか。

問10 都道府県の仕事を行う役所（県庁や都庁など）がおかれている都市のことを何とといいますか。

問11 琵琶湖が近畿地方の人々にとって特に大切にされているのは、どのような理由があるからですか。

問12 都道府県庁所在地には、どのような特徴があるところが多くなっていますか。

問13 日本を構成する都道府県は、全部でいくつありますか。

問14 47の都道府県を、北海道地方や東北地方など、いくつかのまとまりに分けたものを何とといいますか。

問15 都道府県の仕事を行う役所（都道府県庁）がおかれている都市のことを何とといいますか。

問16 日本の地方区分では、47都道府県を全部でいくつの地方に分けていますか。

問17 県庁所在地には、多くの人や施設が集まり、交通が便利になっていることが多いです。その主な理由は何ですか。

問18 日本で一番長い川として知られ、豊かな水を利用して広い平野で米づくりがさかんに行われている川の名称は何ですか。

問19 等高線の間隔（線のあいだ）がせまくなっているところは、土地の様子がどうなっていることを表していますか。